

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 小向 太郎

研究課題	情報セキュリティに関する法制度の整備および運用状況の研究
報告の概要	<p>平成29年度の個人研究費は、以下に述べるような研究計画を実行するために使用された。</p> <p>本年度の研究計画は、情報セキュリティ関連制度について、①我が国における制度整備の状況、②諸外国における制度整備の状況、③セキュリティ関連制度の運用状況と課題を調査し、情報セキュリティ関連制度に関する体系的整理と整備に向けた課題の提示を行うとともに、教育活動にも反映させることを目的として行われた。情報通信 (ICT) 技術の情報利用の高度化に対応して、情報セキュリティを確保するための法制度の整備が喫緊の課題となっている。新しい技術によって、さまざまな情報が収集・蓄積・利用されるなかで、従来とは違ったセキュリティやプライバシーに関する懸念が大きくなっている。</p> <p>平成29年度の研究では、上記のような情報セキュリティ制度の課題について、情報技術によって生じる新たな課題全般を対象として研究を行った。</p>
研究成果	<p>「個人研究費」を用いた今年度の研究成果を以下、簡潔に述べる。まず、研究成果として、著作『情報法入門(第4版) デジタル・ネットワークの法律』(NTT出版)をあげることができる。本書は、情報法分野におけるスタンダードテキストとして定評を得ているものであるが、第4版では全体の構成を見直した全面改訂版となっている。情報法研究の体系化や新たな課題に対する提言をふんだんに盛り込み、情報法研究の到達点を示すものになっている。</p> <p>その他の個別のテーマとしては、個人情報漏洩や情報セキュリティ対策にフォーカスし、論文の執筆や、学会等における報告を行っている。さらに、2018年7月に福岡で予定される INTERNATIONAL ACADEMY OF COMPARATIVE LAWで“Data Protection in the Internet”に関するナショナル・レポートを行う予定である。</p>
研究業績	<p>・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p> <p>小向太郎『情報法入門-デジタル・ネットワークの法律』(NTT出版、第4版、2018年3月) 小向太郎・海外の位置情報制度の動向・『日本データ通信』・215号・査読なし・P.19-22</p> <p>・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p> <p>Taro Komukai, Can the Data Protection Scheme for Transparency Prevent or Reduce the Damage of Data Breach?, The 6th Asian Privacy Scholars Network International Conference, Sept. 27, 2017, 香港大学</p> <p>・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等</p> <p>小向太郎・2017年10月13日・「サイバー犯罪に対する危機管理について」・世田谷法人会</p>